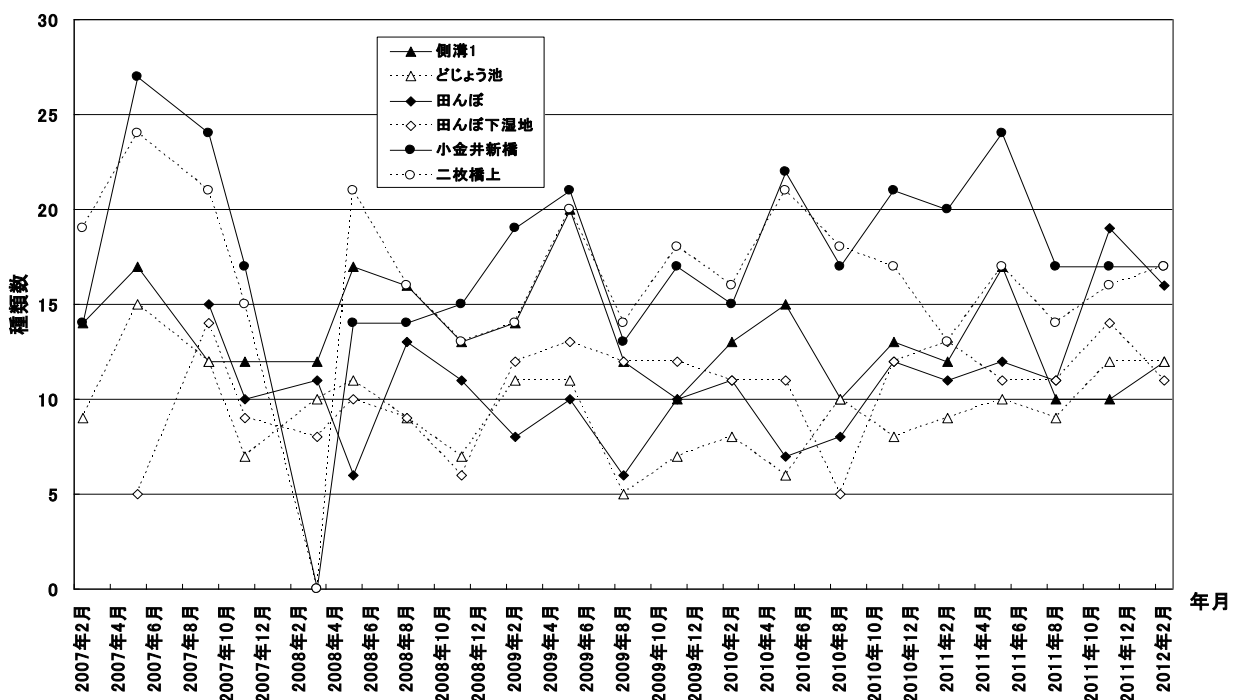


## 自然再生事業 水生生物モニタリング結果

### 要約

- 2011 年度の種類数は、ほぼ平年レベルだった。個体数は、やや少なく、特にイトミミズ、ユスリカ、ミナミヌマエビが大量にみられることがなかった。
- 2008 年 3 月の渇水時に種類数・個体数が大きく減少した(特に野川本川)。
- 野川本川の種類数は、調節池内の地点に比べて多い傾向にある。
- 田んぼ下湿地では、種類数・個体数が少ない傾向にあったが、2009 年 2 月以降、やや増加した。
- どじょう池では、種類数、個体数ともに少ない傾向にある。
- 田んぼでは、イトミミズやユスリカが多いときがある。
- 小金井新橋と二枚橋上では、ミナミヌマエビが多いときがある。
- 調節池内の水域で止水性昆虫(アメンボやマツモムシの仲間、アカネトンボの仲間)がしばしばみられるようになった。
- 2009 年 8 月、側溝 1(湧水の流入場所)で数年ぶりにホトケドジョウが採集された。側溝 1 では、オニヤンマのヤゴもしばしばみられている。
- 2011 年 5 月、小金井新橋でヒメミズスマシが多数採集された。
- 2011 年 8 月と 11 月にはどじょう池や田んぼ下湿地などでグッピーが採集された。震災に伴う節電で飼えなくなったものを放流したものと思われた。グッピーは多数繁殖したが、水温の低下とともにいなくなった。

種類数の経年変化



# 個体数の経年変化

